

歓楽街久々の賑わい

歓楽街久々の乾杯

酒提供 札幌など再開



④2カ月前に営業再開したワイバー「白樺」で店主と乾杯する常連客。1日午後5時10分、札幌市中央区（小笠原親撮影）

店主「ありがたい」
認証制度に不満も

新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が解除された初の1日、札幌では歓楽街の酒提供が再開された。店主は「ありがたい」と歓迎する一方で、認証制度に不満も示している。

医療現場第6波懸念

札幌市保健所は、新型コロナウイルス感染症の第6波が懸念されると見ている。医療現場はすでに限界に達しているという。

道内32人感染 クラスタナシ
道内32人の新型コロナウイルス感染者が確認された。クラスタ（感染連鎖）はなかったと発表された。

市町村	感染者数	累計
札幌市	23	407
旭川市	4	1467
小樽市	0	1465
空知	0	1365
石狩	0	5284
後志	0	541
十勝	0	2206
釧路	0	315
帯広	0	546
青森	0	131
秋田	0	135
山形	0	238
宮城	0	975
福島	0	2297
茨城	0	1174
栃木	0	267
群馬	0	432
埼玉	0	6070
千葉	32	6070
東京都	407	163
合計	407	163

道内の感染状況と道の
警戒ステージ

項目	1日値	2日値	3日値	4日値
①1週間の10万人当たりの感染者数(人)	5.07	8.28	12	15
②病床利用率(入院患者/病床数)(%)	11.0	12.7	20	20
③うち重症者の病床利用率(%)	6.8	11.2	20	20
④入院率(入院患者数/感染者数)(%)	37.1	35.6	40	25
⑤10万人当たりの死者数(人)	8.4	13.7	20	20

市議にタブレット貸与検討

【江別】江別市議会は、25人の全市議にタブレット端末を2021年度から貸与する方向で検討を進めている。現在は紙で配っている議案書や議事録などのデジタル化を進め、印刷費などを削減することが狙いだ。

紙コスト削減狙う
維持費年300万円 財政難、慎重論も

タブレット端末を借りて、自治体向け文書管理アプリで議案書や議事録などを共有する。市議会事務局は、経費として初年度400万円、2年目以降は200万円を必要と見込んでいる。

AI配車 南幌の足担う



A I配車による運行を開始した「あいるーと」の専用車両を利用する町民

【南幌】空知圏南幌町は、人工知能(AI)の配車システムを使い、利用者の目的地に車を走らせるオンデマンド交通「あいるーと」の運行を開始した。利用者は予約時刻を伝え、配車業務の効率化につながるが、事業化は初めてという。

専用車2台 道内初の事業化

町は道路バスの利用者減少を、小中学生100円、未就学児は理由により半額を減額。専用車2台、町内エリアは平日運行する。夜間や土・日・祭日はタクシーを利用し、民間との連携を図る。専用車は約600万円、年間運行経費は約600万円を必要としている。

中学校の選択制廃止

【岩見沢】市教委は1日、市内の小学生が指定校以外の中学校に進学する「選択制」を2023年度で廃止すると発表した。両地区に加わった07年の815人から29・2%も新入生も減少。一部の中学校では生徒数の落ち込みが学級数や教員数の削減につながり、問題が顕著となっている。

与党の政治力発揮

【岩見沢】衆議選道10区(空知、留萌管内)に立候補予定の公明党現職の稲津久氏(63)の事務所開きが1日、市内6東1の同事務所で行われた。稲津氏は公共事業の前倒しや農業者支援を進めるとして「与党の政治力を発揮して地域を変えたい」と目標を述べた。

地域の魅力再発見

ドローン撮影に挑戦

【岩見沢】幌向小(小1)の時間のふると学習領域の制作に取り組んでいる。9月28日には、総合的な学習「向の魅力再発見」で地味なドローン撮影の挑戦。子どもたちは、手を振り笑顔で取り組んだ。ドローン撮影は、地域の魅力を再発見するきっかけとなる。



ドローン撮影は、地域の魅力を再発見するきっかけとなる。子どもたちは、手を振り笑顔で取り組んだ。ドローン撮影は、地域の魅力を再発見するきっかけとなる。

炭鉄港

日本遺産「炭鉄港」の認定自治体として、炭鉄港推進協議会は23日、ガイドとなる人材の育成や地域を越えたガイドのネットワーク作りなどのため「地域開発視察交流会」を小樽市内で開催した。

ガイド育成へ小樽で交流会

推進協23日 街歩きと意見交換
空知からバス運行
道内各地にバス運行を推進し、小樽市までバスを運行する。参加料は千円(傷害保険料込み)。定員100人で、11月10日までに申し込みを完了させる。問い合わせは、東武トップツアー札幌支店(011-221-0821)へ。